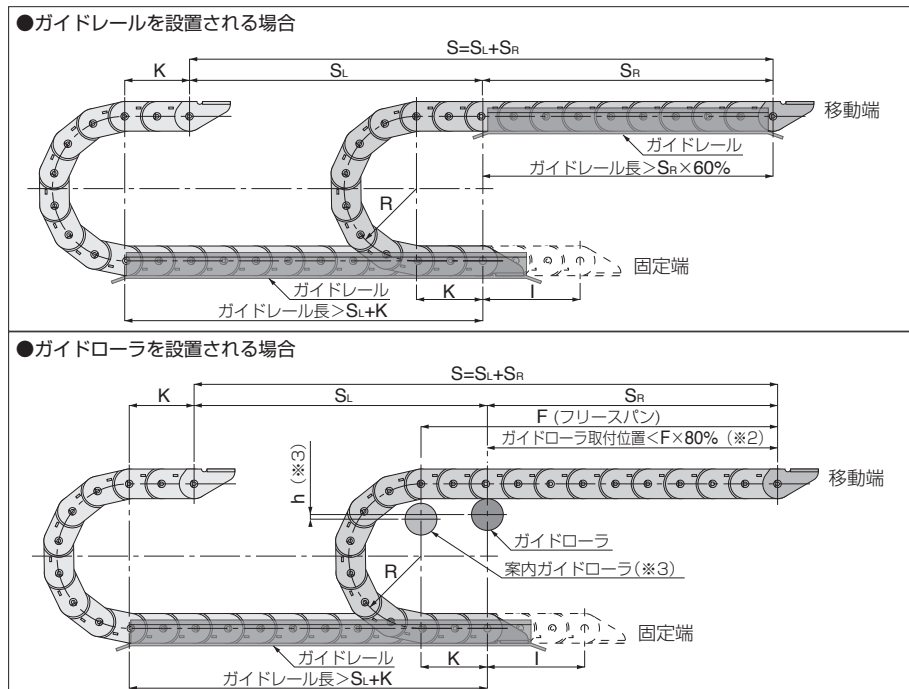


⚠ ガイドレールなど補助具設置に関する注意事項

ロングストロークの場合及び、フリースパン許容値内であっても長期で使用頂く場合など、プラレールチェーンに発生する垂れをガイドレールなどを設置することで、抑制することが可能となります。（但し、移動速度、加速度などは制限を受けます）尚、下記注意事項は目安となりますので、詳細仕様が必要な場合には弊社までお問い合わせください。

1. ガイドレール・ガイドローラを設置される場合

※. 移動速度が1m/sを超える場合にはガイドローラの設置は避け、ガイドレールの設置をご検討ください。



S : 移動ストローク

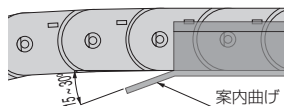
$S_L : \frac{S}{2}$ (固定端が移動ストロークの中間の場合)

$S_R : \frac{S}{2}$ (固定端が移動ストロークの中間の場合)

K : 最低必要余裕長さ (P.219参照)

l : 固定端が移動ストロークの中間点にない場合の中間点からの距離

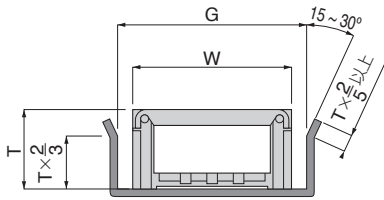
※1. ガイドレール端部では、エッジ形状を避け案内曲げなどを設けてください。



※2. フリースパン許容値を超える使用方法では複数個のガイドローラが必要となります。その場合は弊社までお問い合わせください。

※3. 案内ガイドローラは、移動端が S_L 側から S_R 側へ移動する際に、プラレールチェーンがスムーズにガイドローラへ乗るための案内として、設置することを推奨します。また設置寸法hは、仕様により異なるため、弊社までお問い合わせください。

2. ガイドレール設計目安寸法



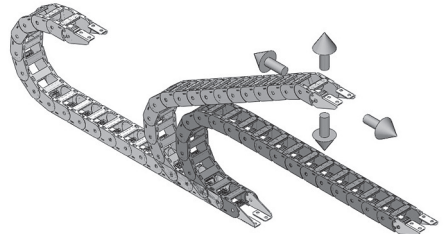
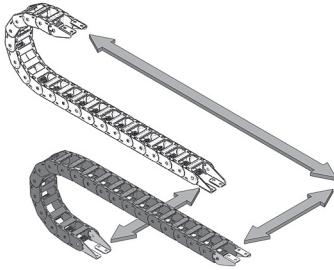
1.G寸法目安

- ・ W < 100mmの場合
G=W+5~10mm
- ・ W > 100mmの場合
G=W+15~20mm

※.上記寸法は、目安であり、仕様により異なりますので、詳細仕様が必要な場合は弊社までお問い合わせください。

3. 複合作動を有する場合

下記例図のような2軸直行作動または複合的作動の場合には、仕様をご確認頂きました上で、弊社にお問い合わせください。



4. ロングストローク及び複合作動を有する場合のその他注意事項

1. ガイドレール、ガイドローラなど補助具を使用しますと、補助具との接触部において、ブラレールチェーンに磨耗が発生しますので、補助具などのブラレールチェーン接触部には、摺動抵抗の小さな材質を選択してください。ガイドレールのブラレールチェーン接触全面へ低摩擦シート(超高分子量ポリエチレンシートなど)を貼りますと、磨耗による発塵を抑える効果があり、長寿命化が期待できます。
2. ロングストロークでは、ブラレールチェーンが挿入ケーブルなどの影響を受け、振れなどを発生する可能性がありますので、ケーブルなどには、曲がり癖、振れなどが無い状態にして挿入してください。
3. ロングストロークでは、挿入ケーブルが絡み易くなりますので、仕切板、棚板などにより、ブラレールチェーン内部空間を間仕切し、ケーブルが絡まないようにしてください。
4. ロングストローク、または複合作動を有する場合は特に、引き込み現象などにより、ブラレールチェーン中間部よりケーブルなどがはみ出すような事故を誘発しますので、挿入ケーブルをブラレールチェーン出口付近にてしっかりと固定してください。
5. 特殊な作動などの場合、仕様によりガイドレールなど補助具の設置は異なりますので、詳細に関しましては弊社までお問い合わせください。